

令和4年 第2回宇都宮市教育委員会会議録

- 1 日時 令和4年2月17日(木) 開始時刻 午後1時30分～
- 2 場所 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 出席者 小堀教育長, 伊藤委員, 大森委員, 檜山委員, 小野委員
- 4 説明員 青木教育次長, 鈴木学校教育担当次長, 坂井教育企画課長, 板倉総務担当主幹, 吉岡学校管理課長, 口川学校教育課長, 秋田学校健康課長, 秋山生涯学習課長, 山口文化課長, 今平文化課主幹(文化財活用推進担当), 岡田スポーツ振興課長, 金子教育センター所長
- 5 書記 古内課長補佐, 野澤総務担当主査, 高久係長, 田代係長, 佐藤総括
- 6 傍聴者 1名
- 7 議題

(1) 審議事項

- 議案第3号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
- 議案第4号 令和4年度教育委員会の組織について
- 議案第5号 宇都宮市社会教育委員の解職及び委嘱について
- 議案第6号 宇都宮市指定文化財の指定について
- 議案第7号 宇都宮市民遺産(みや遺産)の認定について

(2) 報告事項

- 報告第8号 令和3年度教育委員会主要事業の進行管理について
- 報告第9号 教育行政相談の内容と対応について
- 報告第10号 令和3年度宮っ子表彰及び義務教育皆勤賞表彰について
- 報告第11号 令和3年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞について
- 報告第12号 「小中一貫教育・地域学校園」制度の検証について
- 報告第13号 「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの令和3年度結果概要について
- 報告第14号 学校等事件・事故について
- 報告第15号 令和3年度本市児童生徒の体力について
- 報告第16号 「令和4年度宇都宮市教職員研修計画」の策定について

(3) その他

- ① 隣接校との通学区域弾力化等による令和4年度入学者の募集結果について
- ② 教育委員会だより第23号について
- ③ 令和3年度第1回宇都宮市スポーツ推進審議会の結果について

8 議事の内容

事務局	<p>定刻となったが、会議の開催に先立ち連絡事項がある。</p> <p>本日も、新型コロナウイルス感染症防止のため、発言は着席で行うなど、対策を講じて会議を開催するので、ご協力をお願いします。</p>
教育長	<p>ただいまから、令和4年第2回宇都宮市教育委員会を開会する。</p> <p>本日の会議録署名委員は、大森委員、檜山委員をお願いします。</p>
教育長	<p>なお、本日は新型コロナウイルス感染防止対策として、密を避けるため、出席する説明員を限定し、案件に応じ入退室させるので、ご了承いただきたい。</p>
教育長	<p>議案第3号、議案第4号は「意思形成過程にあるもの」、議案第5号、報告第9号及び報告第14号は「個人情報が含まれているもの」であるため、非公開としてよろしいか。</p> <p>(全員賛成)</p> <p>全員賛成なので、これについては非公開とする。</p>
教育長	<p>それでは審議事項に入る。</p> <p>議案第6号「宇都宮市指定文化財の指定について」説明願う。</p>
文化財活用推進担当主幹	<p>【説明要旨】</p> <p>○ 令和元年11月21日付で、文化財保護審議委員会への諮問を決定した「智賀都神社本殿 附 宮殿、木札」について、宇都宮市文化財保護審議委員会より、宇都宮市指定文化財に指定することが適当である旨の答申をいただいたことから、本件を宇都宮市指定文化財（有形文化財・建造物）に指定する。</p>
教育長	<p>説明は以上だが、質疑などはあるか。</p>
伊藤委員	<p>今回の文化財の指定は、建物のみか。</p>
文化財活用推進担当主幹	<p>建物と木札である。建物の中にはご神体の鏡があり、通常は公開されていない。</p>
小野委員	<p>文化財に指定されることにより補助金等が支給され、後世に残しやすくなるということよろしいか。</p>
文化財活用推進担当主幹	<p>おっしゃる通りである。</p>
教育長	<p>それでは、議案第6号を決定してよろしいか。</p> <p>(全員了承)</p> <p>議案第6号を決定する。</p>
教育長	<p>議案第7号「宇都宮市民遺産（みや遺産）の認定について」説明願う。</p>
文化財活用推進担当主幹	<p>【説明要旨】</p> <p>○ 9月末までに応募のあった宇都宮市民遺産候補4件について、2回の宇都宮市民遺産会議の意見聴取を経て、「宇都宮市民遺産認定事業実施要綱」に基づき、宇都宮市民遺産として認定するもの。</p> <p>○ 認定の種類</p> <p>◆ 総合型（歴史文化資源と保存活用する活動をセットで認定するもの）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野口雨情旧居 ・ 悟理道の歴史をつなぐ伝統行事と神輿 ・ 岩本観音と地域の伝統行事 ◆ 資源型（歴史文化資源のみを認定するもの） <ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統作物エソジマモチ（江曾島糯）とその歴史をつなぐ「老農篠崎君功績碑」
教育長 小野委員	<p>説明は以上だが、質疑などはあるか。</p> <p>野口雨情旧居は、総合型・有形文化遺産となっている。資源型との区別がよく分からない。雨情まつりが行われているのであれば、有形文化財ではなく、無形文化財のほうが適切なのではないか。</p>
文化財活用推進担当主幹 小野委員	<p>古くからの伝統行事等を無形文化遺産としており、雨情まつりはまだ新しいもので、伝統行事という認識はない。その観点から有形文化遺産にしている。</p> <p>そうすると資源型という選択も考えられる。資源型では活動に対する支援が出来なくなってしまうのか。</p>
文化財活用推進担当主幹 大森委員	<p>総合型は、文化財そのものの価値と併せて、地域の活動も評価するものである。雨情旧居は所有者と地域が連携し大切に保存継承されており、雨情まつりなど地域の定例行事が行われていることから、総合型としている。</p> <p>資源型のエソジマモチの用途等について伺いたい。</p>
文化財活用推進担当主幹 大森委員	<p>用途としてはエソジマモチ使用の米菓として製造・販売されている。エソジマモチは、横川西小学校の総合学習で取り上げられ栽培されている。また、地域の尽力により栽培面積も年々拡大しており、エソジマモチ保存会としてはさらに広めていきたいと考えている。</p>
大森委員 教育長	<p>将来的に宇都宮学の教材として非常に良いものではないか。</p> <p>それでは、議案第7号を決定してよろしいか。</p> <p>（全員了承）</p> <p>議案第7号を決定する。</p>
教育長	<p>報告第8号「令和3年度教育委員会主要事業の進行管理について」説明願う。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>主な内容については下記のとおり</p>
総務担当主幹	<p>○ 教育企画課</p> <p>◆ 人づくりの推進</p> <p>8月に第2回うつのみや人づくり推進委員会を書面にて開催し、オンライン等を活用した人が集まらない手法での実施を決定した。12月に市HP上における職業紹介や講演の動画配信、市役所市民ホールでのパネル展示を実施した。</p> <p>○ 学校管理課</p> <p>◆ 学校施設の老朽化対策の推進</p> <p>8月に明保小の体育館長寿命化改修工事を実施。小学校体育館への空調設備の設置については9月に事業者を公募し、12月に事業者を決定、契約を締結した。令和4年1月より設置工事に着手し、9月には全校供用開始の予</p>

定である。

◆ 学校トイレ洋式化の計画的推進

7月から小学校13校，中学校1校に今年度分のトイレ改修工事が実施された。今年度末で学校トイレの洋式化率が64.5%に達する予定である。

○ 学校教育課

◆ 学力の向上（GIGAスクール構想の推進）

端末を活用した学習の推進として，8月に感染症対応，不登校児童生徒対応としてオンライン学習を実施した。10月よりICTを活用した授業実践事例を提供。12月にはAI型個別学習ドリルの活用状況等に係る調査を実施し，令和4年1月にその調査結果を提供した。

教職員のICT活用スキルの向上として，陽東小の先進的な取組を公開し，市内小中学校教員が参加した。

教員の英語指導力向上とALTを活用した取組の推進として，8月に小中学校でのオンライン英会話「宮っ子イングリッシュ」を開催した。11月には中学校英語教員研修を実施，小学校英語教育推進教員養成研修，ALT研修会を実施した。

◆ 学校における働き方改革の推進

第2次アクションプランの進捗管理については，AI型個別学習ドリルの導入により教職員の採点作業が軽減された。8月には校務支援ソフトに係る教職員アンケート調査を実施し，9月に児童生徒の欠席等の連絡時のグループフォーム活用を開始した。

教職員人事管理システムの構築については，計画通り進んでいたが，半導体不足等の影響により，1月以降計画が遅延している。

○ 学校健康課

◆ 食育の推進

8月に宇都宮市食育研究大会がオンライン開催され，学校栄養士研修会がオンデマンド開催された。10月には食育パネル展，11月にはうつつのみや食育フェアをオンライン開催し，今年1月には全国学校給食週間におけるパネル展示を開催した。

◆ 体力向上の推進

7月には「元気っ子健康体力チェック」が全校で実施され終了した。11月に部活動地域指導者研修会（BLS講習会）を実施。12月には「元気っ子チャレンジ冬休み版」を実施した。また，R4部活動指導員の公募を開始し，今年2月にR4部活動指導員の新規配置希望調査を実施している。

○ 生涯学習課

◆ 市民の主体的な学習活動の促進・支援

8月と11月に宇都宮市民大学運営協議会を開催し，10月には主催講座「大人の宇都宮学」を開催。このほか各生涯学習センターにおいて，子育て応援講座やスマホ講座を開催している。

6月，7月にVスタッフ養成講座を実施。10月には子どもの体験活動サポーター講座を開催し，11月には家庭教育支援活動者研修を実施した。

- ◆ 宮っ子ステーション事業の円滑な運営
 - ・ 10月に市・法人・地域による意見交換会を実施（8ブロック）し、今年1月に利用者アンケートを実施した。
- ◆ 市民の読書活動の推進
 - ・ アウトリーチサービスの推進として、児童養護施設等への本の貸出を実施した。
 - ・ ICT技術を活用した読書活動の推進として、公開用データをデジタルアーカイブシステムに登録し、一般利用を開始した。
 - ・ 宮っ子の読書活動の推進として、子育てサロンや幼稚園において、「うちでもどこでも読み聞かせ事業」を実施。また、生涯学習センターにおいて、はじめてえほん事業を実施した。12月には、小・中学校図書館関係者研修会を行い、高校生による情報発信の推進事業を実施した。
 - ・ みや学講座の開催として「宇都宮学 大谷石編」、「宇都宮を走った鉄道」、「宇都宮の明治12年のコレラ流行」を実施した。
 - ・ 白楊高校と連携した、小学生のための夏休み科学体験教室や、かわち図書館まつりなど、世代を超えた交流の場を創出した。

○ 文化課

- ◆ 歴史文化基本構想の推進
 - ・ 宇都宮城跡公園清明館においてWi-Fi環境を整備、文化財めぐりでのVR体験の導入などVRを活用した歴史文化の普及啓発を実施した。
 - ・ 宇都宮市民遺産制度の推進として、宇都宮市民遺産会議を開催した。
- ◆ 日本遺産を通じた大谷石文化の保存・活用の推進
 - ・ 宇都宮観光推進委員会会議、大谷石文化のストーリー伝え方講座を実施した。大谷石文化学連続講座（第1回）は新型コロナウイルス感染症感染拡大のため中止。2月に第2回の講座のオンライン開催を検討中である。
 - ・ 大谷地域の重要文化的景観選定に向けた取組として、城山地区・国本地区に、重要文化的景観制度説明を実施した。
- ◆ 百人一首事業の推進
 - ・ あなたの好きな百人一首和歌の募集（応募総数 1,010件）や、競技かるたONLINEうつのみや大会の開催、うつのみや人づくりフォーラムでのパネル展示によるPR活動の実施、「百人一首いろは新聞」の発行を行った。
- ◆ 宇都宮美術館の施設保全整備事業の推進
 - ・ 9月議会で改修工事に係る契約議案を議決し、10月に契約・工事着工している。

○ スポーツ振興課

- ◆ 「ひとり1スポーツ」の推進について
 - ・ 10月～1月にかけて市庁舎にて、地域スポーツクラブ周知パネル展示を実施、12月には地域スポーツクラブ連絡協議会を開催した。
- ◆ スポーツ活動環境の充実について
 - ・ 宮原運動公園の再整備として、野球場の整備内容に係る関係団体（市野

球協会等)との意見交換を行った。

- ・ いちご一会とちぎ国体に向けた施設整備として、清原体育館の供用を開始した。

○ 教育センター

◆ 特別支援教育の推進

- ・ 教育支援委員会の開催(年10回)や、特別支援学級等新任担当教員への指導主事による訪問指導の実施、就学相談説明会の開催、就学相談者を対象とした特別支援学級の参観、就学相談者の就学先の決定、宇都宮市学校教育における合理的配慮に係る手引きの改定を行った。

◆ 不登校対策の推進

- ・ 第2回児童生徒指導強化連絡会の実施や、後期別室登校支援学生ボランティアの派遣(19校)を行ったほか、適応支援教室「まちかどの学校」の1人1台端末に係る通信ネットワーク工事を完了させた。

教育長
小野委員

説明は以上だが、質疑などはあるか。

学校教育課の教職員人事管理システムの構築で、機器の調達が遅れているとのことだが、どういう機器が遅れているのか。学校での1人1台端末に影響が出るのではないか。

学校教育課長

1人1台端末に関しては全く別のシステムであり、影響はない。今回影響が出ているものは、教育委員会の管理主事や学校の管理職が人事等に使用するシステムである。サーバーの本体になる半導体が不足しており、期間を経れば調達可能であるとのことだが、予定していた4月当初からの運用が滞っている状況である。学校においては、一部の業務が出来なくなるものがある。

小野委員

おそらく希少な半導体の遅れだと思うが、今は一般的なハードウェアだとしても慢性的な半導体不足の状況であるので、全ての半導体端末において先回りして準備したほうが良いと考える。

檜山委員
学校健康課長

食育の推進の食育パネル展はどこで開催されたのか。

昨年10月は南図書館、今年1月は市庁舎1階の市民ホールで開催した。各学校の献立メニューや取組等をパネル展示したものであり、10月、1月とも展示内容は同じである。

檜山委員
学校健康課長
檜山委員

今後、他の図書館でも展示されるのか。

例年はこの2回のみである。

コロナの影響で2年間食育フェアが開催されていないことを考えると、もっとPRをしたほうが良いのではないか。

学校健康課長

現在、クックパッドという料理のサイトで、宇都宮市の学校給食の献立の取組を紹介している。閲覧件数も増えている状況である。

大森委員

百人一首の「みやびい」は、宇都宮市の「ミヤリー」とは異なるキャラクターか。

文化課長

「みやびい」はうつのみや百人一首のマスコットキャラクターで、市の「ミヤリー」とは別のものである。

教育長

それでは、報告第8号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第8号を承認する。

教育長

ここで、この後関係する案件がない課及び案件が後半の課の説明員には退席願う。【学校管理課長，生涯学習課長，文化課長，スポーツ振興課長 退席】

教育長

報告第10号「令和3年度宮っ子表彰及び義務教育皆勤賞表彰について」説明願う。

【説明要旨】

教育企画課長

- 義務教育期間における皆勤について、本人の努力を称え、本人及び周囲の児童生徒の励みとなるよう表彰するもの。
- 宮っ子表彰，義務教育皆勤賞表彰の対象者数について報告した。
- 表彰式については新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし，表彰状は各学校に配付し，学校ごとに受賞者へ授与する対応とする。

教育長

説明は以上だが，質疑などはあるか。

檜山委員

昨年までと比較して中学校の皆勤賞の人数が大きく増加しているが，これは学校の休業の影響か。

教育企画課長

ご指摘の通り，出席停止の扱いもあり，本来欠席の生徒も欠席にならなかった場合があると考えます。また，マスクをしているため，風邪などが予防され，欠席する生徒が少なかったということも一因にある。

学校教育課長

新型コロナウイルス感染の不安や恐れがあるという理由で休ませる場合も，出席停止扱いになる。

教育長

以前はインフルエンザで医師の診断がないと出席停止にはならなかったが，いまは保護者や本人からの新型コロナウイルス感染不安の申し出で出席停止になる。

それでは，報告第10号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第10号を承認する。

教育長

報告第11号「令和3年度「宮っ子心の教育表彰」教育委員会賞について」説明願う。

【説明要旨】

学校教育課長

- 小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒を対象（各校1名）とし，「宮っ子の誓い」の趣旨を踏まえ，5つの表彰要件のうち1つ以上で秀でた行動を実践している児童生徒を表彰するもの。
- 2月4日に行われた「宇都宮市教育委員会児童生徒表彰委員会」において表彰候補者を審査し，今年度の表彰者を決定した。

教育長

説明は以上だが，質疑などはあるか。

小野委員

これは本人による応募か。

学校教育課長

学校の職員全員で話し合いをし，小中学校ともに最上級生の中から1人を選ぶ。

教育長

それでは，報告第11号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第11号を承認する。

教育長	報告第12号「小中一貫教育・地域学校園」制度の検証について説明願う。
学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成24年に開始した本制度が全市実施10年目を迎えたことから、これまでの成果と課題について検証し、今後の方向性について検討する。 ○ これまでの取組の状況について、校長会や各小中学校の担当教員の意見、市教委職員による学校訪問時の状況、本市が設定している指標等を根拠として評価し課題をまとめた。 ○ 4つの基本方針別に課題を整理したうえで、これまでの本制度の総括として成果をまとめるとともに今後の方向性を検討した。
教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
小野委員	将来的には希望する全ての児童生徒が、小中一貫教育を受けられることを目指しているのか。
学校教育課長	宇都宮市では平成24年度からそのような方向で取り組んでいる。「施設一体型」という、同じ敷地に小中学校があるものではなく、「施設分離型」の小中一貫教育なので、小中連携の充実版とみることができる。本市では引き続き「一貫」という言葉を使って、計画と制度を一体化して進めていきたいという趣旨である。
伊藤委員	教員間の相互理解とは具体的にどのようなことか。情報交換のみか。
学校教育課長	効果的な取組として、中学校教員の小学校への乗り入れ授業がある。中学校の教員が実際に小学校に来て、授業をするという取組であり、6年生が中学校の授業を体感できるし、教員も授業の話合いを通して相互理解を深めることができる。非常に好評である。
小野委員	中学校のカリキュラムの授業を小学生が受けるのか。
学校教育課長	それについてはある程度、弾力的に捉えている。中学校の先生が小学校の指導書を読んで、中学校の内容を加味し難易度を上げて授業を行うほか、中学校1年生の4月の授業を行う先生もいる。
伊藤委員	小学校で行き渋りをしていた児童が、中学校に行くことが楽しみになるような取組は授業以外であるか。
学校教育課長	6年生の進学先中学校への訪問がある。不登校の児童も参加しているようだ。コロナの影響でここ2年間は出来ていないが、代替としてオンライン等で教員が中学校の様子を伝えている。
伊藤委員	先生方から負担や、やりがいについての意見はあるか。
学校教育課長	生徒の生活態度が非常に落ち着いてきており、きめ細かな対応の成果が出ていると思われる。
小野委員	25地域学校園の中に、6つのモデル地域学校園があるが、これはどのようなものか。
学校教育課長	この6園は、平成24年度の「小中一貫教育・地域学校園」制度の全市導入に先駆けて、先行実施していた6つの地域学校園をモデルとして指定したものである。6園での取組を生かして全市内に導入した。小中一貫教育の継続年数が高い地域学校園である。
大森委員	昨年2月、文科省の研修会で、コミュニティスクールや、学校と地域の連携など、宇都宮市の取組について紹介したところ、非常に先駆的だと驚かれた。今回、

更に検証し、次のステップに移行するという事で、私も感動している。そのような中、4・3・2制について先生方から色々な課題が出ているという話があったが、今後、小学校高学年の教科担任制も含めたカリキュラムマネジメントの中で、どのように進めていくのか伺いたい。

学校教育課長

4・3・2制は、キャリア・心・体力でやっていきたいと考えているが、各教科の進め方の問題がある。文科省の6・3制のカリキュラムがあるため、4・3・2制で計画を作成しても、検証がうまくいかない。本市は国・県・本市の3つの学力調査をしており、4・3・2制のチェックとしてその評価が生かせそうな学年に行っている。カリキュラムの概念を広く捉え、計画だけでなく、学びの履歴全体として、学力調査を使いながら状況チェックをし、地域学校園ごとに、弱点を重点化して朝の学習で復習の時間を多くとるなど、そういうものに生かすことができれば、効果的にいくのではないかと考えている。

伊藤委員

小学校で良いスタートをきるには、小学校と幼稚園・保育所等との連携が大切だと考える。現時点での連携は情報交換のみか。

学校教育課長

令和2年度より幼児教育関係機関との意見交換会を教育企画課と開催しており、今後は研修会の実施について検討していく。研修会ははじめから全市的に始めるのではなく、まず、ひとつの小学校と幼稚園等で試みて、それを広めていく計画である。

伊藤委員
教育長

小学校に入学する心構えを子どもたちに理解させることが必要だ。

それでは、報告第12号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第12号を承認する。

教育長

報告第13号「「うつのみや学校マネジメントシステム」全体アンケートの令和3年度結果概要について」説明願う。

学校教育課長

【説明要旨】

- 学校経営改善のため、学校におけるPDC Aサイクルの確立及び学校評価と情報発信・提供の充実を目的とし、平成20年度から全小中学校に導入している。
- 令和3年10月から12月までの間、全教職員・児童生徒・保護者、任意の地域住民に対して行った全体アンケートの結果概要について報告する。
- 今年度より、原則Webでの回答とした。(地域住民には紙媒体も併用)
- 昨年度との比較において、評価項目全60項目のうち、39項目(約65%)で肯定的な回答割合が増加している。

教育長

説明は以上だが、質疑などはあるか。

大森委員

今年度からオンラインでの回答ができるようになり良かった。回収率もあがったのではないか。

学校教育課長

オンラインという回答方法が難しいという方もいたのか、昨年度より回答率は低下したが、集計に必要な有効回収率は得られた。集計はしやすくなり、かなりの業務削減になった。

伊藤委員

私は先生と児童生徒との信頼関係が大切だと考えており、アンケート項目に「児

	<p>童生徒は先生になんでも相談できる」という項目があると良いと思う。学校全体の雰囲気も読みとれるのではないか。</p>
学校教育課長	<p>悩みを1人で抱え込まず、友達や教員に相談できるということは大切だと感じている。不登校問題や児童生徒指導面でも必要性を感じている。次年度に推進計画の改定があるので、それも踏まえて、この項目についても見直しをしたい。</p>
小野委員	<p>「学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている」の項目で、中学校は教職員、生徒ともに割合が低い。中学校での小中一貫教育に対する関心が低いとまずい。どのような状況なのか。</p>
学校教育課長	<p>コロナ禍で色々な活動が制限されており、小学校との交流が無かったことが影響しているのではないかとと思われる。</p>
小野委員	<p>小学生側の割合が高い理由は何か。</p>
学校教育課長	<p>中学生が作成したDVD鑑賞や、中学校の先生による乗り入れ授業などはコロナ禍でも行われており、その辺で違いが出たのではないかとと思われる。</p>
小野委員	<p>地域住民の方が一貫して95%の割合になっているがこれについてはどうか。</p>
学校教育課長	<p>ご回答いただいている方々に、魅力ある学校づくり地域協議会の方が多い。</p>
檜山委員	<p>「児童生徒は、「持続可能な社会」について、関心を持っている」という項目の教職員の回答割合が高いが、その理由は何か。授業等に取り入れているためか。</p>
学校教育課長	<p>その項目については、昨年度低かった項目の一つであるので、各学校はこれを踏まえて熱心に取り組んでいる。ある中学校では教育活動のたびに17の目標を関連付けて説明したり、お昼の放送でSDGsの歌を流して浸透させたりしている。</p>
教育長	<p>それでは、報告第13号を承認してよろしいか。 (全員了承) 報告第13号を承認する。</p>
教育長	<p>報告第15号「令和3年度本市児童生徒の体力について」説明願う。</p>
	<p>【説明要旨】</p>
学校健康課長	<p>○ 令和3年度「元気っ子健康体力チェック」における新体力テスト結果の全国、県との比較について報告する。</p> <p>○ 小学校5年生について、男子は「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」において、女子は「上体おこし」「反復横跳び」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」において、全国平均値を上回り、総合的な体力水準を示す「体力合計点」は、男女ともに全国平均値を上回った。</p> <p>○ 中学校2年生は、男子は「握力」「上体起こし」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」において、女子は8種目全てにおいて、全国平均値を上回り、総合的な体力水準を示す「体力合計点」は、男女ともに全国平均値を上回った。</p>
教育長	<p>説明は以上だが、質疑などはあるか。</p>
小野委員	<p>宇都宮市は、小学5年、中学2年ともに体力合計点が全国平均を上回っているが、以前からか。</p>

学校健康課長	平成21年度から行っている、本市独自事業の元気っ子体力チャレンジの経年変化では、徐々に右肩上がりの傾向にある。全学年を対象としており、個人の評価は保護者に伝え、学校にも本市全体の数値や学校ごとの比較などをデータにして送っている。各学校では課題を把握し補強運動をするなど工夫をしており、右肩上がりの傾向にあるのは先生方の努力が実っているためと思われる。
教育長	本市の特徴として、E段階の割合が低いのは以前からである。また、全国平均との比較は今回特に良いのではないか。
学校健康課長	おっしゃる通りである。コロナ禍で全国的に体力が落ちている中、宇都宮市は体力低下が低く抑えられている。ただ、中学2年女子は結果が毎年高い傾向にある。昨年9月の自由討議で意見をいただいたように、携帯ゲームアプリ等を使っ ての運動や、認定証の発行など、子どもたちが楽しみながら運動に取り組めるよう、努力していきたい。
教育長	それでは、報告第15号を承認してよろしいか。 (全員了承) 報告第15号を承認する。
教育長	報告第16号「令和4年度宇都宮市教職員研修計画」の策定について説明願う。
教育センター所長	【説明要旨】 ○ 「教育公務員特例法」に基づき、県が策定した「栃木県教員育成指標」を踏まえ、教職員研修を体系的かつ効果的に実施するために、令和3年度の取組と今後の課題を踏まえた「令和4年度宇都宮市教職員研修計画」を策定する。
教育長	説明は以上だが、質疑などはあるか。
檜山委員	研修のメニューが数多くあり非常に良いと思う。オンデマンド研修の成果についてはどのように評価するのか。
教育センター所長	ビデオ等を視聴したうえで、研修の内容に応じた課題に対して回答を提出するようになっている。
伊藤委員	希望研修や自主研修は、受講する方とそうでない方の差があるのか。それともほとんどの教員が受講するものなのか。
教育センター所長	希望研修に関しては、専科教員になったときに必要性を感じて受ける方が多い。明日の公開講座では、外部講師をお招きして夜6時から8時の時間帯に自主研修を行う。熱心な先生や時間の都合がつく先生は参加するが、そうでない方は反応がない。しかし、そういった先生方も書籍等で自主学習をしているようだ。
伊藤委員	校内研修に関しては校長の采配か、それとも市のカリキュラムで指定されたものがあるのか。
教育センター所長	校内の研修計画を学校で策定し、市教委に挙げることになっている。主に学習指導主任や管理職を中心に、うつのみや学校マネジメントシステムのアンケート結果等を生かして、研修の計画を策定している。
小野委員	ことばの意味について伺いたい。「往還を図る」と「悉皆研修と希望研修を合同で実施する」の2つはどのような意味で使っているのか。
教育センター所長	まず、「悉皆研修と希望研修を合同で実施」については、参加者が指定されてい

る研修に、その他の教員も希望すれば参加することができるということである。また、「往還」については、センター研修で学んだことを、学校に持ち帰り、校内研修で先生方に伝達し理解を深めてもらったり、また、それについて、センター研修で成果を発表しあい、全市に広げていったりするということである。

教育長

それでは、報告第16号を承認してよろしいか。

(全員了承)

報告第16号を承認する。

教育長

次に「その他」の案件になるが、その他の案件については、資料提供のみであるので、後ほどご覧いただきたい。

【公開できる案件の終了】

教育長

これからの議案は非公開の案件であるため、傍聴者等の退席をお願いする。

【傍聴者の退席、非公開審議の開始】

- 議案第3号 教育委員会に係る議会の議決を経るべき事件の意見の提出について
⇒ 決定
- 議案第4号 令和4年度教育委員会の組織について
⇒ 決定
- 議案第5号 宇都宮市社会教育委員の解職及び委嘱について
⇒ 決定
- 報告第9号 教育行政相談の内容と対応について
⇒ 承認
- 報告第14号 学校等事件・事故について
⇒ 承認

【非公開審議の終了】

教育長

その他委員の皆様から何かご意見などあるか。

(特になし)

教育長

次に、事務局から連絡事項をお願いする。

事務局

連絡事項説明（教育企画課高久係長）

- 今後の会議等の日程について
 - ・ 3月9日(水) 午前8時30分～ 臨時会
 - ・ 3月18日(金) 午後1時30分～ 定例会
 - ・ 3月25日(金) 午後4時00分～ 総合教育会議

教育長

以上をもって、本日の委員会を閉会とする。

終了時刻 午後4時40分

署名委員

署名委員
